

# 加佐この人紹介 地域に溶け込む、たのもしい駐在さん

加佐駐在

かないわ みつる  
金岩 充さん



年齢 44歳  
家族 妻、子2人(こども園)  
出身 富山県  
趣味 料理

### 警察官になろうと思った動機

幼稚園の時に書いた「子どもの夢」では、既に警察官と書いていたと母から聞いています。保育園に来た白バイが、かっこよかったのだと思います。

### 地域の皆さんへのメッセージ

高齢者の多い地区なので、できるだけわかりやすく防犯指導を行うよう心掛けています。

(聞き手:副塾長 河田 雅徳)

神崎駐在

ことろ しょうた  
後藤 将太さん



年齢 37歳  
家族 妻、子2人(小学生、1歳)  
出身 京都市左京区  
趣味 ジョギング、筋トレ

### 警察官になろうと思った動機

高校卒業後、別の仕事に就職。のちに、人の役に立つような仕事がしたいとの思いから一念発起し警察学校へ。初任地は、京都市東山区の祇園交番。

### 地域の皆さんへのメッセージ

八雲、神崎地区の安心安全のため頑張ります。

(聞き手:編集委員 井之本 淳)

## コウノトリの人工巣塔整備報告

昨年の4月、コウノトリが岡田由里地区の電柱に巣を作り、近くにお住まいの皆さんが、農作業の傍ら温かく見守っておられたところ、停電防止等の理由から、巣が撤去されると聞き、大変残念に思いました。

コウノトリは、自然豊かな地を好むとされ、連綿と受け継がれた加佐地区の豊かな自然が、鳥を呼び寄せたのではないかと考えています。

加佐ふるさと塾では、次代を担う子供たちが、ふるさとに愛着と誇りを持つことができる取り組み、「ふるさと再発見事業」を令和4年度からスタートさせ、コウノトリをきっかけとした新たな地域づくりを進めることとしました。

そうした中、去る12月に、皆さんから頂いた寄付金をもとに、コウノトリが安心して営巣できる人工巣塔を整備することができました。

今後は、この巣塔を拠点として、自然保護の取り組みを広げていきたいと考えておりますので、加佐ふるさと塾の活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



▲関電柱の譲渡を受けて整備したコウノトリの人工巣塔

## 編集後記

時間がある時は、家の近くをウォーキングします。

田んぼ道を歩いていると電柱の上にとまっているノスリに出会うことがあります。タカの仲間、トビよりもひとまわり小さく、背中の羽の色が薄茶色で、胸が白いです。冬になると、夏は山で暮らし、冬になると里におりてくるそうです。

近くに行くとき、飛び立って、また別の電柱へと移ります。羽をしまうときに、尾っぽをプルプルと横に振るしぐさがなんとも可愛らしいです。

一方、こちらは可愛らしいというより、優雅で美しいというほうが似つかわしく昨年大いに話題となりましたコウノトリ。

計画していましたが巣塔が12月に完成しました。春につがいできて来てくれることを今から楽しみにしています。

多くの皆様から寄付をいただき、本当にありがとうございます。

編集長

河田 雅徳

